

製品名: DGK-η ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09951**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	DGKH
別名	DGKH; Diacylglycerol kinase eta; DAG kinase eta; Diglyceride kinase eta; DGK-eta
遺伝子 ID	160851.0
SwissProt ID	Q86XP1
免疫原	抗血清はヒト DGKH 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 771-820

背景

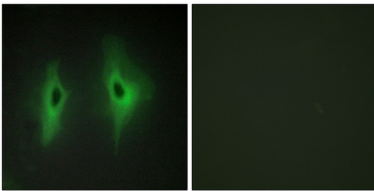
ジアシルグリセロールキナーゼ η (DGKH) ホモサピエンス この遺伝子は、ジアシルグリセロールキナーゼ (DGK) 酵素ファミリーのメンバーをコードする。このファミリーのメンバーは、細胞内ジアシルグリセロールおよびホスファチジン酸濃度の調節に関与す

る。この遺伝子の変異は双極性障害と関連付けられている。選択的スプライシングによる転写バリエーションが同定されている。[RefSeq提供、2014年7月],触媒活性: $\text{ATP} + 1,2\text{-ジアシルグリセロール} = \text{ADP} + 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸}$ 。機能: ジアシルグリセロール (DAG) をリン酸化してホスファチジン酸 (PA) を生成する。PTM: リン酸化;触媒活性を阻害しません。類似性:真核生物のジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属します。類似性:DAGKc ドメインを1つ含みます。類似性:PH ドメインを1つ含みます。類似性:SAM(無菌アルファモチーフ)ドメインを1つ含みます。類似性:ホルポールエステル/DAG型ジンクフィンガーを2つ含みます。細胞内局在:ストレス刺激にตอบสนองして細胞質からエンドソームに移行します。アイソフォーム2はストレス刺激が除去されると速やかに細胞質に戻りますが、アイソフォーム1は持続的なエンドソームへの結合を示します。サブユニット:アイソフォーム1はSAMドメインを介してホモオリゴマーを形成します。アイソフォーム1は、SAMドメインを含むDGKDアイソフォームとヘテロオリゴマーを形成することもできます。アイソフォーム1のオリゴマー化は、その触媒活性を阻害する。組織特異性:アイソフォーム2は普遍的に発現する。アイソフォーム1は精巣、腎臓、結腸でのみ発現する。、

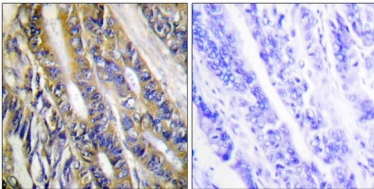
研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;

画像データ



DGKH抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DGKH抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。